

令和8年5月27日



# 学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yabe/>

## 6月号

横浜市立矢部小学校  
校長 内山 聖司

## 家庭・地域と共に成長する学校

児童支援専任 平柳 正彦



気温が真夏日に近くなる日が増え、夏の始まりを感じさせる時期となりました。1年生の撒いたアサガオの種が芽吹き、2年生の植えた夏野菜がぐんぐんと成長する様子からも、それを感じます。

去る5月22日に、学校運営協議会が開催されました。11名の学校運営委員の方と、令和8年度中期学校経営計画をはじめとして、子どもたちの成長に関わる様々な意見交換を行いました。委員の方にはご多用の中お時間を割いていただき、本校職員一同大変感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。その話し合いの中の話題をいくつかご紹介いたします。

まずは、あいさつについてです。本校ではあいさつ・あるきかた・あとかたづけの3点を「3つのあ」として、年間生活目標として掲げており、主に運営委員会を中心に企画した朝のあいさつ運動等を通してあいさつの重要性を子どもたちと考える実践しています。昨年度の学校評価アンケートにおける児童の自己評価では、7～8割の児童が「あいさつがよくできている・できている」という結果が出ています。ところが、委員の方からは地域での子どもたちの様子から、「数字以上にあいさつができていないのではないか」という、厳しいご意見を頂きました。特にコロナ禍以降、学校内外で減っている「ひととの繋がり」について改めて考え、支援していく必要があると感じている職員も多くおり、学校の教育課程の中でどのような活動ができるのか、考えてまいります。

次に、インターネットリテラシー教育に関しての話題が上がりました。一人一台端末が普及し、子どもたちの学習環境が大きく変わる中、学校としてどのような取り組みを行っているかのご質問がありました。毎年企業や戸塚警察署のご協力を仰ぎ、「スマホ・ネット安全教室」や「非行防止教室」を実施して、ネットトラブルの未然防止を目的とした学習を行っており、今年度も継続して実施する予定です。子どもたちの発達段階や実態に応じた学習活動をこれからも継続して考え実践してまいります。

このように地域の方を中心とした委員の方から頂いたご意見を、今後も学校教育活動の改善に生かしてまいります。最後になりますが、「あいさつ励行」「ネットリテラシー教育」については、ご家庭のご協力なしでは前に進めることが出来ません。日ごろの家庭の会話の中でこの2点について話し合ってもらえると幸いです。子どもたちの成長のために、ご協力をお願い致します。